

エコアクション21

# ～環境経営レポート～

2023年5月～2024年4月



株式会社 クロースパーツ

作成日:2024年 6月 18日

# 事業概要

## 事業所及び代表者

株式会社 クロースパーツ  
代表取締役社長 服部利明

## 所在地（認証登録範囲）

本社工場：静岡県島田市牛尾888-4  
TEL.0547-45-5636 FAX.0547-45-5649

第二工場：静岡県島田市牛尾942  
TEL.0547-47-3021 FAX.0547-47-3022

第三工場：静岡県島田市金谷東2丁目34-1  
TEL.0547-39-3288 FAX.0547-39-3712

## 環境管理責任者名と連絡先

環境管理責任者：茂泉 弘幸（品質管理課：測定チーム）  
TEL.:0547-39-3288 E-mail:h.moizumi@clopa.jp

## 事業内容

自動車部品の組立・検査・包装（本社工場、第二工場、第三工場）  
ユニットバス窓枠部品の組立・検査・包装・梱包（第二工場）  
マスクの包装・梱包（第二工場）  
太陽光発電事業（第二工場）

## 事業の沿革及び規模

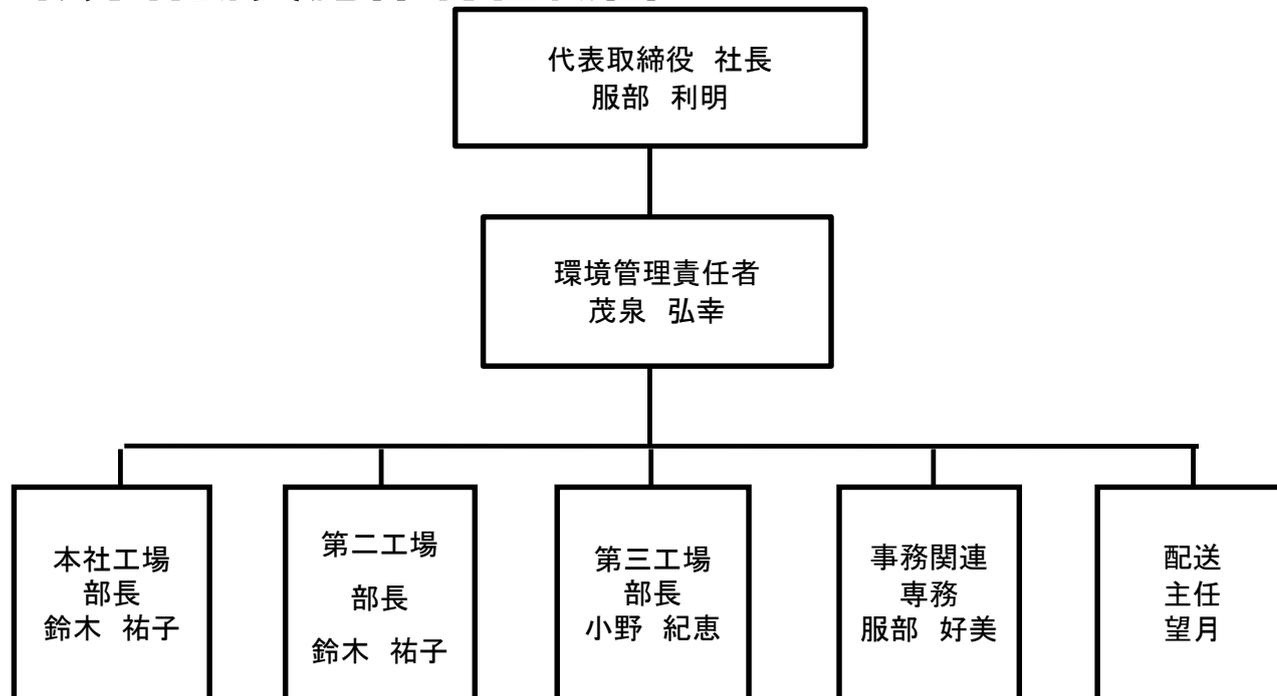
法人設立：1999年5月  
事業年度：期首5月～期末4月

	単位	2023年度	
主要製品生産量	万個	2901.8	
従業員数	人	72	2024.5現在

## 床面積

本社工場：570㎡  
第二工場：800㎡  
第三工場：1,053㎡

# 環境活動実施体制組織図



役職	氏名	役割
代表取締役	服部 利明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針を制定する。</li> <li>・環境管理責任者及びその他責任者を任命する。</li> <li>・環境への取り組みを適切に実行する為の資源（人、もの、金）を準備する。</li> <li>・環境システムの実施状況を報告させ、全体の確認、評価を行い、システムの見直し及び改訂を指示する。</li> </ul>
環境管理責任者	茂泉 弘幸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境目標を設定し、目標達成に向けて活動計画を策定し各責任者に実施を指示する。</li> <li>・環境活動の実施状況及び実施結果を調査し代表者へ報告し、システムの見直し及び改訂の為の情報提供を行う。</li> <li>・環境活動の実施結果、代表者の評価を取りまとめ、環境経営レポートを作成します。</li> </ul>
各工場部長	鈴木 祐子 小野 紀恵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省資源活動を推進する。 (再使用、ゴミの分別、廃棄物の削減を推進)</li> <li>・不良率低減活動を推進する。</li> <li>・CO2を削減の為に省エネ活動を推進する。</li> </ul>
事務関連	服部 好美	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省資源活動を推進する。 (再使用、ゴミの分別、廃棄物の削減を推進)</li> <li>・CO2を削減の為に省エネ活動を推進する。</li> <li>・総排水量の維持継続を推進する。</li> </ul>
配送	望月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2削減の為に、省エネ活動を推進する。 (ガソリン使用料削減、エコドライブ推進)</li> </ul>

# 環境経営方針

## 基本理念

当社では、自動車用電装部品の組立・検査等を行なっているが、事業活動に伴い生じる環境負荷の把握・管理に取り組んでいき、「地球に優しく」をスローガンに掲げ、地域環境の保全と社会への貢献を目指します。

## 基本方針

1. CO2総排出量の削減、廃棄物の削減、総排水量の削減のため、省資源・省エネルギー・リサイクル・節水活動を推進します。
2. 社内不良低減の活動へ取り組む等、環境に配慮した製品づくりを推進します。
3. 環境関連の法律、及びその他の要求事項を遵守します。
4. 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全意識の向上をはかります。
5. 環境経営レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを行っていきます。

上記の基本方針を基に、環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：2007年 10月 31日

改定日：2022年 6月 13日

株式会社 クローズパーツ  
代表取締役

服部 利明

## 1-1. 環境経営目標

### 1)《環境負荷実績と環境目標(中・長期)》

目標の設定にあたって

①二酸化炭素排出量、電気使用量、ガソリン・軽油使用量、廃棄物排出量、及び総排水量は、出荷数量(万個)あたりとした。

②目標は2019年度を基準に設定。

③社内不良率は社内組付けの代表1工程での2019年度基準からの削減目標で設定。

(年度は5月～4月)

項目	単位	2019年度 実績	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 2019年度を基準に2023 年度までに3%削減	Kg-CO2 ／出荷数(万個)	36.03	35.67 (1%削減)	35.31 (2%削減)	34.95 (3%削減)
<b>電気使用量の削減</b> 2019年度を基準に2022 年度までに3%削減	kwh ／出荷数(万個)	39.24	38.85 (1%削減)	38.46 (2%削減)	38.06 (3%削減)
<b>ガソリン・軽油使用量の削減</b> 2019年度を基準に2023 年度までに3%削減	L ／出荷数(万個)	6.90	6.83 (1%削減)	6.76 (2%削減)	6.69 (3%削減)
<b>社内不良率の削減</b> 2019年度を基準に2023 年度までに0.03%削減	%	0.06	0.05 (0.01%削減)	0.04 (0.02%削減)	0.03 (0.03%削減)
<b>廃棄物排出量の削減</b> 2019年度を基準に2023 年度までに3%削減	kg ／出荷数(万個)	4.75	4.70 (1%削減)	4.66 (2%削減)	4.61 (3%削減)
<b>リサイクル比率の向上</b> 2019年度を基準に2023 年度までに3%向上	%	36.90	37.90 (1%向上)	38.90 (2%向上)	39.90 (3%向上)
<b>総排水量の維持</b> 2023年度まで総排水量を 2019年度実績で維持	m <sup>3</sup> ／出荷数(万個)	0.144	0.144 (維持)	0.144 (維持)	0.144 (維持)

※極端な出荷数の増減による排出量等への影響を極力少なくするために、  
個数比率で数値を算出しています。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2018年度)調整後排出係数

## 1-2. 環境経営目標(次年度)

### 1)《環境負荷実績と環境目標(中・長期)》

目標の設定にあたって

①二酸化炭素排出量、電気使用量、ガソリン・軽油使用量、廃棄物排出量、及び総排水量は、出荷数量(万個)あたりとした。

②目標は2023年度を基準に設定。

③社内不良率は社内組付けの代表1工程での2023年度基準からの削減目標で設定。

(年度は5月～4月)

項目	単位	2023年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 2023年度を基準に2026 年度までに3%削減	Kg-CO2 ／出荷数(万個)	43.53	43.09 (1%削減)	42.66 (2%削減)	42.22 (3%削減)
<b>電気使用量の削減</b> 2023年度を基準に2026 年度までに3%削減	kwh ／出荷数(万個)	50.48	49.98 (1%削減)	49.47 (2%削減)	48.97 (3%削減)
<b>ガソリン・軽油使用量の削減</b> 2023年度を基準に2026 年度までに3%削減	L ／出荷数(万個)	8.34	8.26 (1%削減)	8.17 (2%削減)	8.09 (3%削減)
<b>社内不良率の削減</b> 2023年度を基準に2026 年度までに0.03%維持	%	0.03	0.03 (維持)	0.03 (維持)	0.03 (維持)
<b>廃棄物排出量の削減</b> 2023年度を基準に2026 年度までに3%削減	kg ／出荷数(万個)	4.09	4.05 (1%削減)	4.01 (2%削減)	3.97 (3%削減)
<b>リサイクル比率の向上</b> 2023年度を基準に2026 年度までに3%向上	%	62.40	63.40 (1%向上)	64.40 (2%向上)	65.40 (3%向上)
<b>総排水量の維持</b> 2026年度まで総排水量を 2023年度実績で維持	m <sup>3</sup> ／出荷数(万個)	0.171	0.171 (維持)	0.171 (維持)	0.171 (維持)

※極端な出荷数の増減による排出量等への影響を極力少なくするために、  
個数比率で数値を算出しています。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(令和4年度)調整後排出係数

## 2. 主要な環境活動計画

### 1)《中・長期活動計画》

(年度は5月～4月)

		責任者	主な活動内容	2021年度	2022年度	2023年度	
省エネ活動 二酸化炭素排出量の削減	1、電気使用量	服部 好美 鈴木 祐子 小野 紀恵	節電による電気使用量の削減				
			①休み時間の消灯の徹底	→	→	→	
			②空調適正温度の管理	→	→	→	
				③各部門への啓発	→	→	→
	2、ガソリン・軽油使用量	望月		エコドライブ実施によるガソリン、軽油の削減			
				①エコドライブ実施の徹底	→	→	→
②効率的な積載				→	→	→	
省資源活動	3、社内不良率	茂泉 弘幸	①組付け不良の是正と予防	→	→	→	
	4、廃棄物排出量	茂泉 弘幸	①削減できる資源投入が無いかを検討	→	→	→	
	5、リサイクル比率	服部 好美 鈴木 祐子 小野 紀恵	①ゴミの分別	→	→	→	
			②コピー用紙の裏面使用	→	→	→	
			③事業活動で発生するラップ等の管理徹底	→	→	→	
6、節水活動の実施	服部 好美	①節水表示による従業員への啓発	→	→	→		
法規制遵守	7、法規制違反ゼロ	茂泉 弘幸	①教育訓練の実施	→	→	→	
			②法規制遵守の確認	→	→	→	

## 2)《2023年度短期活動計画》

(年度は5月～4月)

実施目標	実施項目	責任者	運用期間											
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
・電気使用量の3%削減 (2019年度比)	休み時間の消灯の徹底	服部 鈴木 小野	各従業員へ指示、徹底											
	不要な空調停止の徹底 設定温度の順守 (事務所及び製造)	服部 鈴木 小野	各従業員へ指示、徹底											
	グラフによる啓発	服部	電気代グラフ作成 従業員への展開											
・ガソリン、軽油 使用量3%削減 (2019年度比)	エコドライブの実践 配車の調整による削減	望月	エコドライブの実施											
	配送者への呼びかけ	望月	ガソリン代データ収集と配送者への展開											
・社内不良率 低減 0.04%以下	組付け不良是正と予防	茂泉	不良率調査及び是正処置											
・廃棄物排出量 3%削減 (2019年度比)	投入資源の削減検討	茂泉	削減できる資源が無いかを調査・検討											
・リサイクル率 3%向上 (2019年度比)	コピー用紙の裏面使用 ゴミの分別 ラップ等の管理徹底	鈴木 小野	再使用紙用の箱を設置											
			ゴミの分別											
			ラップ等の管理徹底											
・総排水量 維持 (2019年度比)	節水表示による 従業員への呼びかけ		全体朝礼時等で 従業員へ呼びかけ											
・法規制違反 ゼロ	対象法規制遵守状況 確認	茂泉	継続遵守確認											

## 《環境経営目標(短期)に対する実績・評価》

当社における二酸化炭素排出量、廃棄物量、総排水量の2023年度(5月～4月)での実績は以下の通りです。

項目	単位	2023年度 年間(5月～4月) 目標	2023年度 年間(5月～4月) 実績	評価
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で3%削減	Kg-CO2 ／出荷数(万個)	34.95	45.14 (130993kg-CO2)	× <b>29.16%</b> 未達成
<b>電気使用量の削減</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で3%削減	kwh ／出荷数(万個)	38.06	50.48 (146473kwh)	× <b>32.63%</b> 未達成
<b>ガソリン・軽油使用量の削減</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で3%削減	L ／出荷数(万個)	6.69	8.34 (24201.39L)	× <b>24.66%</b> 未達成
<b>社内不良率の低減</b> 2023年度 0.04%以下	%	※	※	※
<b>廃棄物排出量の削減</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で3%削減	kg ／出荷数(万個)	4.61	4.09 (11864kg)	○ <b>-11.28%</b> 達成
<b>リサイクル比率の向上</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で3%向上	%	39.90	62.4	○ <b>22.5%</b> 達成
<b>総排水量の維持</b> 2019年度5月～4月を基準に 2023年度5月～4月で実績維持	m <sup>3</sup> ／出荷数(万個)	0.144	0.171 (495m <sup>3</sup> )	× <b>18.75%</b> 未達成

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力(2018年度)調整前排出係数の「0.472(kg-CO2/kWh)」を使用。

※個数換算した数値に関し、(換算前実績値)を記載いたします。

### 〈コメント〉

- ・前年と比較し、新規製品受注増加、取引先の見直しを行った。  
そのため、二酸化炭素排出量、電気使用量の多いラインから小さいラインへ変更ができエネルギー使用量削減に繋がった。
  - ・会社全体で生産数は増加している中で、作業効率化等による削減も行うことが出来た。
  - ・ガソリン、軽油使用料についても、取引先見直しの効果から配送便は維持し、積載量の増加ルート等再検討による削減も行うことが出来た。
  - ・目標値には以前未達状況であるものが、未達幅を減少することができ改善は出来ている。
- ※社内不良については、基準とした取引先との取引取りやめによりデータ算出ができないため判定は行わない。来年度から別工程での基準を設けることとする。

### 〈未達成項目に対する今後の取り組み〉

- ・現状の取り組みは継続させ、更なるエネルギー使用量の削減を強化していく。
- ・会社全体での取り組みを従業員へ再徹底を指示し、活動を行っていく。

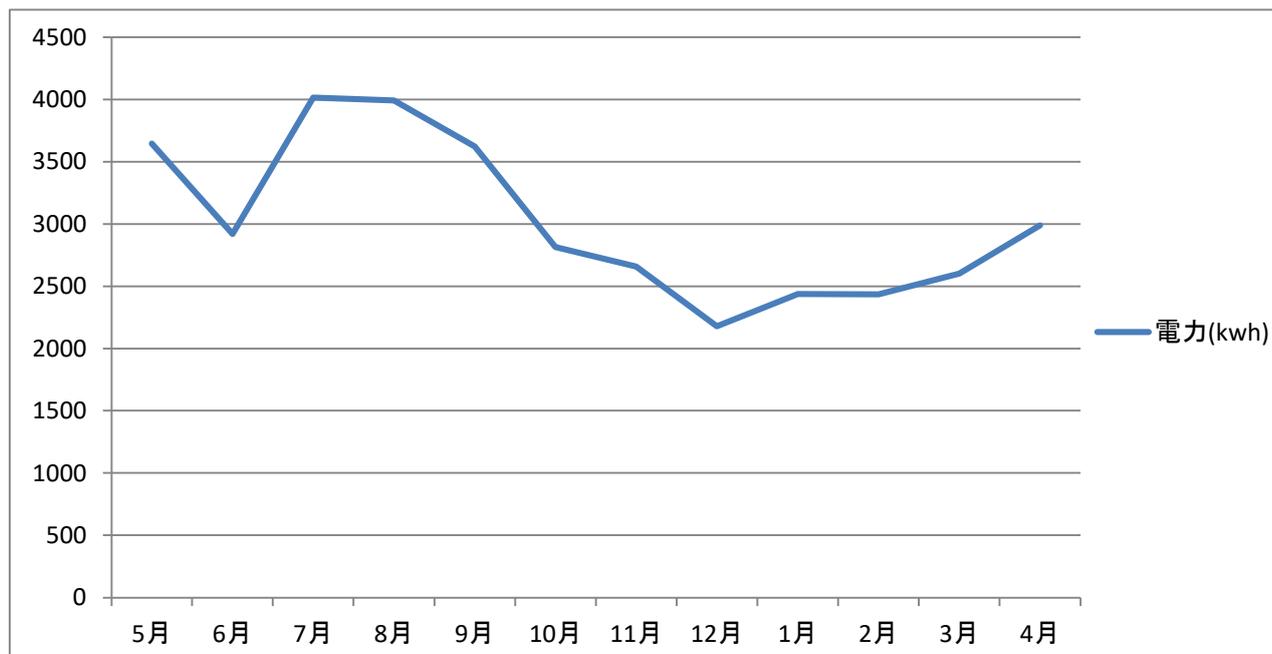
### 3)《2023年度短期活動計画の取組結果と評価(5月～4月)と次年度の活動計画》

※2019年度基準目標に対する活動

実施結果項目	実施項目	活動の評価	次年度に向けての取組み
・電気使用量の 3%削減	エアコンの設定温度見直し 事務所及び現場	○	設定温度の継続順守をし、 必要に応じ見直しを行う。
	不要照明消灯による節電 不要空調停止による節電 設定温度順守による節電	○	不要時の照明の消灯に関して、 継続順守。
	グラフによる啓発	○	従業員への毎月 の情報展開実施
・ガソリン・軽油 使用量 3%削減	エコドライブの実践 ・アイドリングストップ等	○	運転手への定期 指示実施
	集計データによる啓発	○	運転手への毎月の 情報展開実施
・社内不良率 0.04%以下	組付け不良の是正と予防	○	今後も不良率調査を実施しながら 是正と予防を実施
・廃棄物排出量 3%削減	投入資源の削減検討	○	ストレッチフィルムの 削減を検討
・リサイクル率 3%向上	ゴミの分別	○	環境委員を中心にさらなる 取り組み強化
	コピー用紙の裏面使用	○	裏面使用の徹底
・総排水量 維持	節水表示と呼びかけによる啓発	○	従業員への毎月 の情報展開実施
・法規制違反 ゼロ	対象法規制遵守状況確認	○	継続して新しい法規制が無いかを 注意し確認、管理し遵守する。

## 《今年度の太陽光発電量による効果》

当社における太陽光の発電量による効果は以下の通りです。

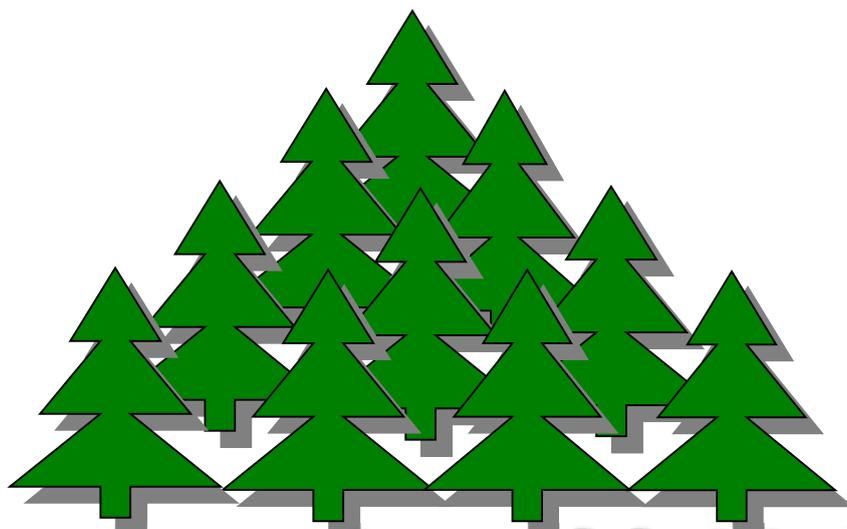


太陽光発電(再生可能エネルギー需給電力量)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
電力(kwh)	3646	2920	4015	3992	3623	2814	2659	2180	2438	2434	2602	2990	36313

二酸化炭素排出量削減換算: 17139.74 (kg-CO<sub>2</sub>)

植林効果に換算すると



# 約1,224本の植林効果

※杉の木1本あたりCO<sub>2</sub>吸収14kg換算

# 環境関連法規の取りまとめ

遵守評価日：2024年6月17日

## 対象法規制と遵守状況

評価者：茂泉

法律・条令	要求事項・責務	具体的確認内容	遵守状況	
義務	騒音規制法	騒音に係る特定施設(使用)届出 空気圧縮機 (公称能力7.5kw以上)	空気圧縮機 7.5kw以上 4台 (規制値の遵守)	○
	振動規制法	振動に係る特定施設(使用)届出 空気圧縮機 (公称能力7.5kw以上)	空気圧縮機 7.5kw以上 4台 (規制値の遵守)	○
	静岡県 生活環境等の 保全に関する 条例	騒音、振動に係る特定施設 (使用)届出 空気圧縮機 (公称能力3.75kw以上)	空気圧縮機 7.5kw以上 4台 (規制値の遵守)	○
	廃棄物の処理 及び清掃に関する 法律 静岡県 廃棄物の適正な 処理に関する 条例	事業系一般廃棄物の適正処理  産業廃棄物の適正処理 ・保管場所への掲示板設置 ・マニフェスト交付・保管 ・マニフェスト未返却時報告 ・マニフェスト交付状況等報告 産業廃棄物処理委託先の 現地確認と記録の保管 産業廃棄物管理責任者の選任	事業系一般廃棄物の収集運搬 業者との委託契約 産業廃棄物の収集運搬処理 業者との委託契約 委託前確認 定期的確認(1回/年) マニフェストの確認 交付状況報告(1回/年)6月末まで	○
	フロン排出抑制法	エアコン、コンプレッサー ①自身での簡易点検(3か月に1回以上)実施 ②7.5kw以上49kw未満の定期点検(3年に1回以上)	①自社管理者による確認実施 ②委託による定期点検実施	○
	浄化槽法	定期保守点検 設置・廃止届出 定期水質検査	所定回数の点検実施 1回/年 定期清掃 1回/年 法定水質検査	○
責務・ 努力	環境基本法	公害防止・自然環境保全 廃棄物の適正処理 再資源等の利用 国・地方公共団体の施策に協力	エコアクション21への 積極的取り組み	○
	循環型社会形成 推進基本法	廃棄物の発生抑制 循環的利用 適正処分 国・地方公共団体の施策に協力	3Rへの努力	○
	地球温暖化対策 推進法	温室効果ガス発生抑制 国・地方公共団体の施策に協力	エコアクション21への 積極的取り組み	○
	ELV規制	ELV適合品以外の使用を 禁止(取引先からの要求)	備品等を含め適合品以外は 使用しない	○
	グリーン購入法	環境物品の購入	紙・文具等 環境物品を選択購入	○
	PCリサイクル法	廃棄時の適切な処理	専門業者への引き渡し	-
	家電リサイクル法	廃棄時の適切な処理	専門業者への引き渡し	-
自動車リサイクル法	廃棄時の適切な処理	専門業者への引き渡し	-	

## 環境法規制への違反・起訴の有無

環境関連法規制等の遵守状況を評価した結果、違反はありませんでした。

尚、過去3年間にわたって関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟等は有りませんでした。

# 代表者による全体の評価と見直し

前年と比較し、取引先見直し、配送ルート再検討、社内レイアウト変更等により作業効率改善を図り、エネルギー使用量の減少と繋がった。

会社全体として、エネルギー使用に対してこまめに電気を消す、エアコンの温度調整等従業員全員で徹底することができた。

配送に関しては、取引先の見直し、ルート再検討を行うことで、燃料使用料を抑えることに繋がった。

生産数減少により、エネルギー使用量の減少ではなく、増加した中での削減であり、作業全体の見直しを図ることで今回の結果となっていることは、環境への配慮及び経費削減に繋がっている。

以前目標未達成であるため、無駄な部分を最大限排除し目標達成に繋がる取り組みを今後も継続させていきたい。

現状出た改善点については、来期以降重点項目として取り組み強化に努めていく。

2024年 6月 18日  
株式会社 クロースパーツ  
代表取締役  
服部 利明

見直し項目		変更の必要性	必要性有の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
2	環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
3	環境経営計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	計画の中に、改善への取組等による削減活動を入れるよう検討。
4	環境に関する組織 (実施体制含め)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
5	その他のシステム要素	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
6	その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	